

畜産茨城

第500号

令和5年1月31日

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／八木 岡 努

目次

令和4年度全国優良畜産経営管理技術発表会で 最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞 …… 1	畜産映像情報 がんばる！畜産！6… 5
鳥インフルエンザ発生農場の防疫措置について ～防疫措置から再導入まで～ …… 2	令和4年11月市況 …… 6
令和4年度から畜産センターに『繁殖技術・ ゲノム研究センター』ができました …… 4	肉用子牛生産者補給金発動状況… 6
	令和4年12月市況 …… 7
	牛マルキン発動状況… 7
	第6回子ども料理教室… 8

令和4年度全国優良畜産経営管理技術発表会で 最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞

令和4年度 全国優良畜産経営管理技術発表会

（第62回 農林水産祭参加行事）

主催：公益社団法人 中央畜産会 後援：農林水産省・地方競馬全国協会



去る11月25日、東京都「都市センターホテル」にて、
（公社）中央畜産会主催による令和4年度全国優良畜
産経営管理技術発表会（農林水産祭参加行事）が開催
され、本会が推薦した下妻市の倉持ピッグファウム(株)

代表取締役倉持勝氏が『おいしい笑顔がみたいから～
伝説の下妻金豚～』を発表し、最優秀賞（農林水産大
臣賞）を受賞されました。

※概要は次のページ

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

【概要】

昭和58年に就農。種豚生産から一貫経営への経営転換し、徐々に規模拡大を進め、現在は母豚200頭規模。食肉加工・直売所も開業し、親子3代にわたる養豚経営を行っています。自社銘柄豚「伝説の下妻金豚」は出荷先の東京食肉市場においても高く評価されていると共に、直売所では自社生産の肉豚の約2割を販売しています。無駄なく全ての部位を販売するために、精肉として販売しにくい部位は、ベーコンやソーセージ等の加工品や総菜で使用。常時50種類以上の商品が店頭に並んでいます。

倉持氏が6次産業化を目指した理由は2つ。経営を安定させるため、自らが価格決定できる商品を販売することで売上を伸ばそうと考えた事が1つ目。おいしい豚肉を消費者に届けたい

想いと、自分たちがつくる豚肉の味の評価を消費者に決めて頂きたいという想いが2つ目との事です。

審査委員からの講評では、種豚を自ら育種改良している点、PRRSフリー、飼料用米の利用、伝説の下妻金豚の上物率、豚が快適に過ごせる環境整備、ECサイトによるネット販売の6点が、評価できる事項として紹介されました。

受賞を受け、倉持氏は、「さらなる経営の安定のため、2人の後継者が生産部門と加工販売部門でそれぞれ働きやすくなるよう、農場及び店舗の整備をしていくと共に、引き続き『おいしい笑顔が見たいから』を信念に走り続けていきたい」とコメントされていました。

最優秀賞受賞おめでとうございます。益々のご活躍を祈念致します。

鳥インフルエンザ発生農場の防疫措置について ～防疫措置から再導入まで～

茨城県県西家畜保健衛生所

はじめに

国内における鳥インフルエンザ発生状況（農林水産省HP）では、令和5年1月22日までの家きんでの発生は25道県64事例が報告されており、昨年の同時期（1月22日まで）の9県14事例と比較し、4倍以上の発生数で異常事態となっています。

消毒等、発生予防のための対策を行うのはもちろんですが、万が一発生があった場合に速やかにウイルスの封じ込めを行い、周囲への拡散・まん延を防止することが重要です。

茨城県でも昨年11月にかすみがうら市、12月に笠間市、今年1月に城里町の養鶏場で発生があり、飼養鶏の殺処分等の防疫措置を行いました。

通報から防疫措置まで

農場から鶏の死亡羽数が増加する等の通報があ

ると、家畜保健衛生所が速やかに農場に検診に行きます。鶏の臨床症状を確認するとともに死亡鶏について簡易検査を行い、陽性になると県北家畜保健所で遺伝子検査を行い、同時に発生した場合に備え防疫措置の準備を始めます。簡易検査から約半日位で遺伝子検査の結果が出て陽性の場合は高病原性鳥インフルエンザ発生となり、直ちに防疫措置を開始します。

また、ウイルスの拡散を防ぐため、発生農場を中心に3km以内を移動制限区域とし、家きん、卵、鶏糞等の移動が基本的に禁止になります。同様に半径10km以内を搬出制限区域とし、当該区域からの搬出が禁止されます。一部の家きんや卵は、検査で陰性を確認した上で、農林水産省と協議し、食鳥処理場やGPセンターへ移動や搬出できることもあります（制限の対象外）。

農場防疫措置の概要

まず農場内の鶏舎や機材などは鳥インフルエンザウイルスに汚染されている恐れがあるので、消毒を行います。その後農場の鶏は全て動物福祉に配慮して、炭酸ガスにより殺処分されます。鶏の死体は、茨城県ではこれまで、密閉された状態で焼却場へ運び、焼却処理していましたが、今年度発生した3農場は農場敷地内又は近接地に埋却処理しました（一部焼却もあり）。一般に埋却処理の方が焼却処理より防疫措置が早く終わる傾向があり、他県では埋却される方が多いです。

なお、埋却地には下記のような条件が望まれます。

- ①付近に民家や商店がない
- ②場所が農場内又は農場の近接地
- ③川や池、井戸など、飲用水源やその上流から離れている
- ④地下水位が低い
- ⑤岩や砂利を多く含まない地質（掘削時、崩れてこない）
- ⑥未利用の畑等、即時掘削可能（林等は伐採・伐根が必要）
- ⑦できれば試掘済みであること（埋却できるか確認済）

農場内にある鶏糞、卵、飼料等はウイルスに汚染されている可能性があるため、「汚染物品」とされ、埋却、焼却または発酵による消毒で処分します。

発酵による消毒とは、農林水産省と協議の上で、農場内の鶏糞処理場等の風雨が当たらない建屋の中に汚染物品を置き、消毒用の石灰をまき、飛散を防ぐためブルーシートで覆った状態（封じ込め）で一定期間静置してウイルスを不活化（消毒）する方法です。温度や日数等の条件はその時の状況や協議内容により変わりますが、概ね90日静置すると不活化が完了すると言われています。

殺処分が終わり、汚染物品の処理が終了し、農場内の消毒が終わると、農場防疫措置が完了します。

鶏の再導入

農場防疫措置完了から1週間後と2週間後に農場の消毒を行い、また移動制限区域内の養鶏場で検査をして陰性が確認されると、21日目に移動制限が解除となり1連の防疫措置が完了します。

しかし発生農場はすぐに新しい鶏を導入することはできません。まず、鶏舎からウイルスが除去されているか確認のため床、壁、天井等のウイルス検査で陰性を確認します。その後、全ての鶏舎でおとり鶏（1鶏舎30羽以上）を14日間飼って毎日観察し、最終的には検査を行い、鳥インフルエンザに感染していないことが確認できれば、家きんの再導入ができます。

ただし、汚染物品の発酵消毒が長引いて終了していない場合、再導入できません。また、処分鶏を埋却するのに埋却地を使用した場合、農場を再開させるには飼養羽数分の埋却地を新たに確保する必要があります。

いずれにせよ、早期に養鶏場を再開するには防疫措置が順調に終了することが必須です。

終わりに

現在も全国各地で、高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いでおり、予断を許さない状態が続いています。

養鶏農家の皆様におかれましては、いつも以上に鳥インフルエンザウイルスの農場への侵入防止対策を入念に行って頂き、発生予防に努めていることと思います。

それと同時に、万が一発生があった場合に備え、十分な埋却候補地の確保をお願いします。また、速やかに防疫措置が行えるよう、農場の消毒や汚染物品の回収等、防疫措置への協力をお願いします。



令和4年度から畜産センターに『繁殖技術・ゲノム研究センター』ができました

茨城県畜産センター繁殖技術・ゲノム研究センター

畜産センター内の「受精卵供給センター」は令和4年4月から新たに「繁殖技術・ゲノム研究センター」に改編されましたので、本センターの業務及び試験研究の内容を紹介します。

【繁殖技術（受精卵）】

牛の採卵は、牛に過剰排卵処理というホルモン剤の処理をすることで、通常の発情では1つのみ排卵するところを複数排卵させ、そこに人工授精をすることによって、受精卵を複数回収する技術です。

当センターで飼養している繁殖和牛での採卵（場内採卵）と、依頼のあった農家さんでの採卵（野外採卵）を実施しています。実績については表1のとおりです。

◎場内採卵

場内採卵では、採卵技術や回収卵数の向上を目指した試験研究を実施しています。

場内採卵で回収された受精卵は翌年度に販売しています。今年度は4月、7月および11月の3回、受精卵を販売しました。来年度は約200個の受精卵を販売する予定です。受精卵を販売するときは購入実績のある方には直接連絡しますが、畜産センターのホームページやFacebook等でもお知らせしますので、FAXまたは郵送でご応募ください（図1）。応募者多数の場合は抽選となります。

◎野外採卵

R4年度から、野外採卵は農林事務所で申し込みを受け付けることとなりました。採卵作業は県北、県央、鹿行地域は県北家畜保健衛生所が、県南、県西地域は当センターが実施します。野外採卵は、図2のとおり最寄りの農林事務所へ申し込み後、採卵のスケジュールと過剰排卵処理の提案をいたしますので、過剰排卵処理についてはかかりつけの獣医師へ依頼してください。採卵のスケジュールは図3のとおりで、発情を確認後、9～13日目にホルモン剤による過剰排卵処理を実施すると、処理開始後5日目に発情がみられるので、通常の発情と同様に人工授精を実施します。そして、人工授精後7日

目が採卵実施日となります。採卵や受精卵凍結のための経費は無料で実施しますが、獣医師へ依頼するホルモン剤や精液（種付け）等の経費は自己負担となります。

【ゲノム研究】

常陸牛と他銘柄との差別化を図るため、小ザシ、うまみ成分、脂肪酸等の「おいしさ」への影響と遺伝情報の解明を進めるとともに、データ集積を行い、県独自のゲノミック評価システムの構築を図っています。

将来的にはこのゲノミック評価システムを基にして、受精卵移植技術なども応用しながら、優良な資質をもつ個体を選抜・交配して種雄牛や雌牛を造成し、活用することにより常陸牛のトップブランド化に寄与することを目的としております。

受精卵の販売についてのお問合せは、畜産センター繁殖技術・ゲノム研究センター（TEL：0299-43-3333）までご連絡ください。

表1 場内採卵および野外採卵の実績

年度 事業 項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度（R4.12末）
採卵頭数(延べ)	103	72	74	59
回収卵数	687	707	711	465
凍蔵可能卵数	251	313	270	160
凍蔵先数(実)	30	37	47	38
凍蔵個数	215	281	349	268
採卵戸数(実)	32	29	29	23
採卵頭数(延べ)	58	44	57	46
正常卵数	153	231	245	236

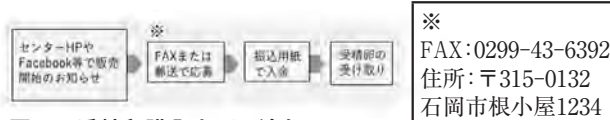


図1 受精卵購入までの流れ

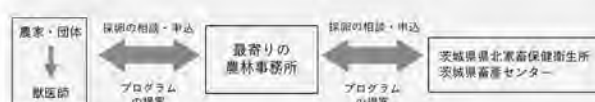


図2 野外採卵依頼の流れ

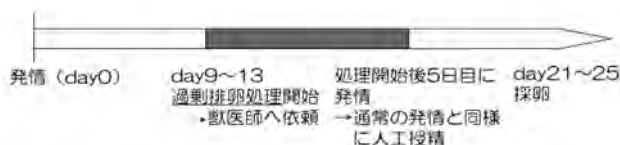


図3 採卵までのスケジュール

畜産映像情報 がんばる! 畜産! 6



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介します。

この映像情報を生産者の方はもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

●配信中的内容●

総集編②全国和牛能力共進会に向けて取り組む高校生たち／都市の中での乳肉複合による多角経営／総集編①自給飼料生産に取り組む生産者たち ほか

ドキュメント! 畜産の新主役たち

このコンテンツでは、畜産物の安全性確保や6次産業化の取り組み、女性、障がい者など多様な担い手の活躍を「人」に着目して紹介します。

●配信中的内容●

安全で美味しい畜産物を消費者に届けるための認証制度 農場HACCP／畜産業界で活躍する女性たち(総集編)／災害に負けなかったミルク ほか

なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

●配信中的内容●

乳製品が搾乳現場から消費者に届くまでに密着!(総集編)／乳製品ができるまで／災害に立ち向かった畜産業界(総集編)

ほか

グリーンチャンネル
でも放送中

--- 放送日 ---
毎週月～金曜日
朝7時～

「がんばる! 畜産! 6」

URL : <https://jlja.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部(情報)

TEL : 03-6206-0846 FAX : 03-5289-0890



令和4年11月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
2	一般子豚	0				
	ベビー豚	98	20,130	17,160	18,434	35
16	一般子豚	0				
	ベビー豚	106	24,860	21,010	23,086	35
30	一般子豚	0				
	ベビー豚	98	23,210	17,490	21,005	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	59	887,700	264,000	540,603	283	1,911
		♂	0					
		去計	107	982,300	240,900	676,428	312	2,171
		計	166	982,300	240,900	628,153	301	2,084
	F1	経産	2	704,000	606,100	655,050	-	-
	F1	♀	0					
		♂	0					
		去計	0					

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	14,873.0	72.0	578	569	550	515	434	535	27,890	1,219.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	296	323	495.7	2,562	2,293	2,037	1,334	2,397	
	B	18			2,331	2,017	1,845	1,121		
	C	9			-	-	-	913		
乳牛	A	-	260	290.4	-	-	-	-	491	
	B	3			-	-	-	570		
	C	257			-	-	-	567		
交雑牛	A	5	42	488.5	-	1,673	1,511	-	1,401	
	B	28			-	1,600	1,556	1,231		
	C	9			-	-	1,410	1,224		

茨城県畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	26	685,300	330,000	524,658	265	1,980
		♂	0					
		去計	43	935,000	419,100	702,465	303	2,320
			69	935,000	330,000	635,465	289	2,202

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	5、9、15、19、25、29					
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	2	1,100	1,100	1,100
		♂	106	56,100	1,100	31,485
		去計	1	11,000	11,000	11,000
		計	109	56,100	1,100	30,739
	子牛	♀	0			
		♂	4	29,700	15,400	22,825
		去計	0			
		計	4	29,700	15,400	22,825
F1	2歳	♀	4	236,500	212,300	224,675
		♂	0			
		去計	4	236,500	212,300	224,675
		計	4	236,500	212,300	224,675
	スモール	♀	74	125,400	8,800	68,378
		♂	71	167,200	11,000	94,708
		去計	0			
		計	145	167,200	8,800	81,271
黒毛和種	子牛	♀	0			
		♂	1	66,000	66,000	66,000
		去計	0			
		計	1	66,000	66,000	66,000
	スモール	♀	1	330,000	330,000	330,000
		♂	2	418,000	396,000	407,000
		去計	0			
		計	3	418,000	330,000	381,333
	子牛	♀	11	803,000	165,000	594,600
		♂	5	493,900	314,600	426,800
		去計	1	400,400	400,400	400,400
		計	17	803,000	165,000	533,824

肉用子牛生産者補給金発動状況

令和4年度第3四半期(2022年10～12月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	614,000	534,100	-	127,400	301,400
補給金単価	-	-	-	36,600	-

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年(4月～3月)としている。

令和4年12月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
14	一般子豚	0				
	ベビー豚	75	20,900	16,830	18,200	35
28	一般子豚	0				
	ベビー豚	68	20,240	16,720	18,247	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	84	842,600	321,200	576,649	288	2,003
		♂	0					
		去計	114	939,400	336,600	724,369	315	2,302
	F1	経産	198	939,400	321,200	661,700	303	2,182
		♀	13	370,700	74,800	225,585	-	-
		去計	0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀						
		♂						
		去計						
開催なし								

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目 畜種	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)						屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	16,322.0	72.2	585	568	551	519	435	537	27,611	829.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 387	437	506.6	2,719	2,370	1,630	1,606	-	2,503	
	B 31			-	2,200	1,554	845	655		
	C 19			-	-	1,189	791	613		
乳牛	A -	210	298.8	-	-	-	-	-	550	
	B 6			-	-	723	712	-		
	C 204			-	-	-	621	514		
交雑牛	A 7	67	492.5	-	1,680	1,640	-	-	1,414	
	B 40			-	1,837	1,589	1,147	-		
	C 20			-	1,350	1,323	1,019	-		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	5、9、15、19、25					
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	1	3,300	3,300	3,300
		♂	67	55,000	0	31,243
		去計	0	55,000	3,300	30,832
	子牛	♀	0			
		♂	3	33,000	26,400	30,433
		去計	4	36,300	13,200	30,250
F1	スモール	♀	7	36,300	13,200	30,329
		♂	3	217,800	143,000	175,267
		去計	0	217,800	143,000	175,267
	子牛	♀	3	133,100	11,000	73,458
		♂	61	167,200	41,800	110,289
		去計	0	167,200	11,000	93,698
黒毛和種	スモール	♀	111	167,200	11,000	93,698
		♂	1	111,100	111,100	111,100
		去計	2	203,500	174,900	189,200
	子牛	♀	0	203,500	111,100	163,167
		♂	3	357,500	330,000	346,500
		去計	2	423,500	347,600	385,550

牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種(茨城県)	交雑種	乳用種
令和4年11月	概算払単価	38,914.4円	-	32,222.0円
令和4年10月	概算払単価	37,594.1円	4,468.7円	37,063.1円

- ◆四半期の最終月以外については、交付金を概算払し、各四半期の最終月に確定単価で精算払をしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)また、消費税抜きで算定されています。
- ◆令和2年4月末日から令和3年5月末日までに負担金の納付期限を迎える登録肉用牛のうち、負担金の納付期限を猶予した登録肉用牛について、交付金の交付がある場合は、国費分のみ(4分の3相当額)の支払いとなります。(3品種とも)

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<https://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

第6回

りょう

り

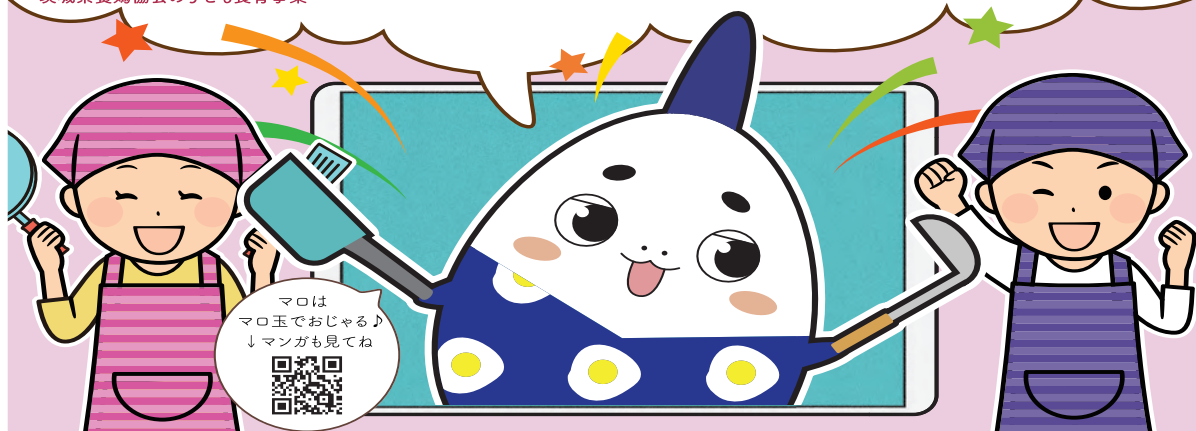
きょう

しつ

子ども料理教室

オンライン料理教室！ 自宅で親子で「オムライス」をつくろう！

茨城県養鶏協会の子ども食育事業



マロは
マロ玉でおじゃる♪
↓マンガも見てね



生産量全国2位（茨城県）



サツマイモ パプリカ

+

=



たまご

生産量
全国1位
(茨城県)

オムライス



※写真はイメージです。

パプリカ × たまご

「パプリカオムライス」

2023/ **2/19** (日)

10:30～11:50

お申込み〆切 2/12 (日)

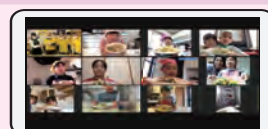
- 場 所 / オンライン Zoom
(スマホでも参加可能)
- 対 象 / 小学生3～4年生
(各回20組予定)
- 参加費 / 無料



講師 野菜ソムリエ
山崎 真理子 氏

NHKカルチャー講師をはじめ、茨城県知事公室女性青少年課主催の食育セミナーなどを通し食育活動中。

- ★初めての方でも丁寧にサポートします！
- ★参加者全員にマロ玉さんシール贈呈



▲2021年度の様子

茨城県養鶏協会 子ども食育事業／食育と茨城県のたまごや食材に親しんでもらうことをねらいに2017年度より実施しています。

<https://marotama.org/> ←詳細の活動はこちら

お申し込み方法

右のQRコードまたはURLから
フォームに必要事項を記入し、送信してください。

※参加は抽選となります。抽選結果は個別にお知らせします。
※当日準備いただく食材については、事前にレシピ等をご案内します。

主催 | 茨城県養鶏協会 お問い合わせ先 | design.tabi2020@gmail.com (子ども料理教室事務局)

お申込み
QRコード▶



URL▼

<https://ws.formzu.net/fgen/S266340001/>

茨城県が誇る、極上の霜降り牛肉

常陸牛



ひたちぎゅう



いばらき地鶏

奥久慈しゃも

奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
TEL / 0295-72-4250
FAX / 0295-72-2944

主役も、引き立て役も。

ローズポーク



公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029(231)7501 FAX / 029(222)2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール kobayashi-kenichi@ibaraki-lia.or.jp

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>